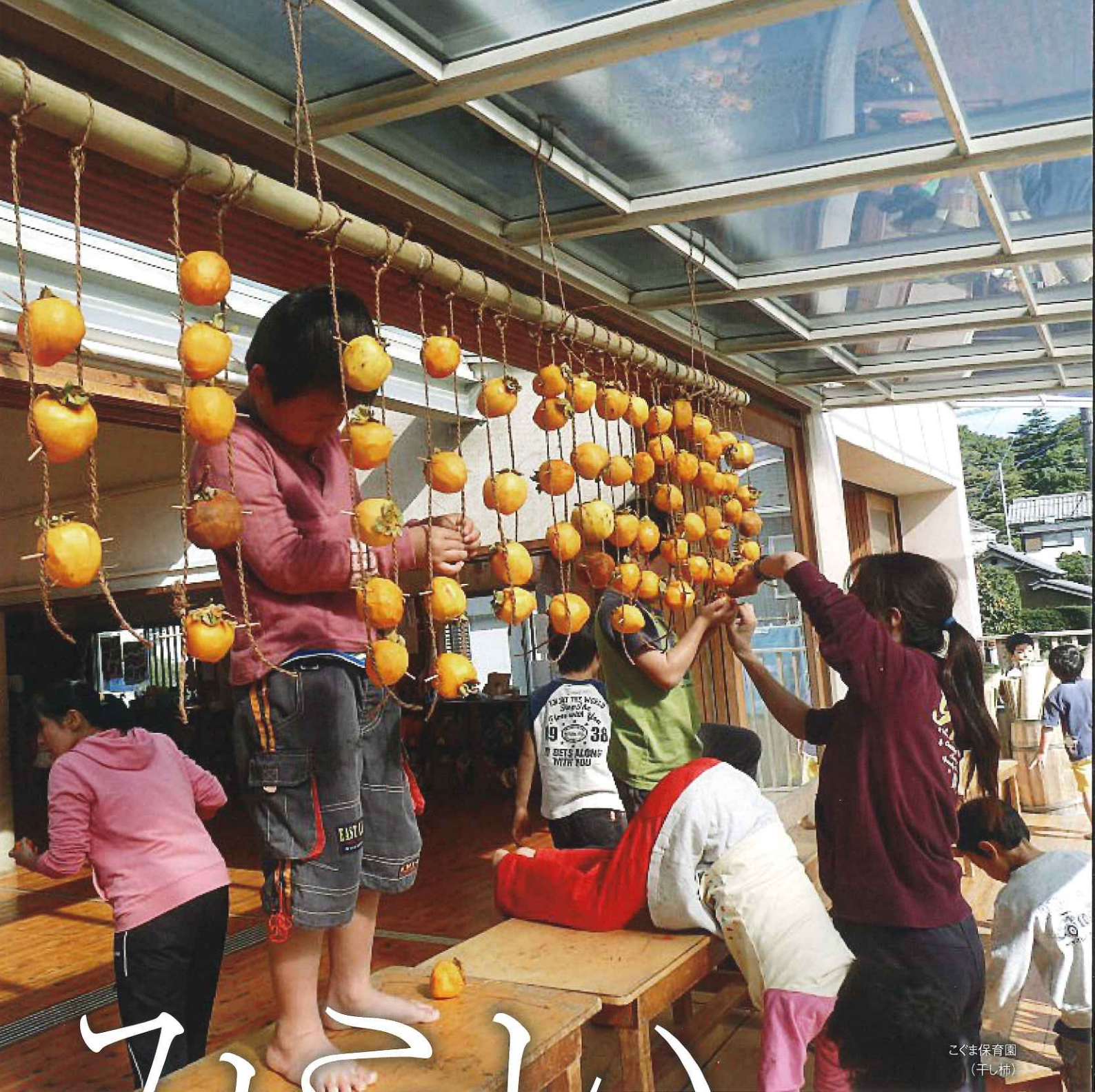




こぐま保育園  
(干し柿)

# みらい

2013.1  
新春号 ⑧

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

## Contents

- 年頭あいさつ…P2
- 民間保育園へ補助拡充を! 他の政令市では?…P3
- ナースのお仕事 保育園編…P4
- 栄養士のつぶやき・浦和ひなどり保育園園内見学…P5
- 部会報告…P6 わくわくが いっぱい! …P7
- 保育園紹介・昭和に認可された保育園・編集後記…P8



# 希望へつながるように



会長 剣持 浩

我が家の台所から東の空に見事な朝焼けが見え、毎日ご来光の陽の光を浴びながら1日が始まります。年頭にあたり、いつものように陽が昇りまた沈む、その繰り返しで平和な日常が壊れることがないよう祈ります。

その日常が崩れてしまったあの東日本大震災は一瞬の天地異変と原発崩壊で日常の全てが奪われてしまいました。未だ復興の見通しが立たない国の姿は寂しい限りです。衆議院選挙が終わり、政局は混沌とした状況となり、この国の舵取りはどうなるのでしょうか？

さて、子どもたちの日常は昨日と今日ではちよつとずつ違います。子どもたちが大人（親であり、保育園にあつてはそこで働く人たち）を観る目も昨日と今日とは少しずつ違います。子どもたちの成長は“陽が昇りまた沈む”同じ繰り返しとは違って、ちよつとだけ違うことが生きる力につながることでしょう。大人社会の閉塞感と不況が子どもたちの生活に影を落としているならば、私たち大人は子どもたちの明日が希望とあこがれにつながるようにしなければなりません。大人が子どもたちに昨日より今日へ、今日より明日へと歩む姿をしつかりと示すことで子どもたちの希望につながるようにしたいものです。



副会長 吉岡 貞典

あけましておめでとうございます。

冬の日差しを浴びながら、子供たちが砂場遊びや、泥んこ遊びに興じている。何十年も変わらぬ光景がある。この子供たちが如何に幸せにそだっていくかだけを考えて保育園を続けてきた。歴史の変遷の中で環境も制度も変わり続けてきた。

今年また保育園の制度が大きく変わろうとしている。現場からはその制度の意図が見えにくい。

本当に子供たちの幸せを考えて作られた制度なのであるか。老兵は去るのみと思いつつも、新制度の中で子供たちの視点で、子供たちの幸せを考えられる保育園が生き残って欲しいと願う。制度を支えるのは現場である。



副会長 黛 秋代

新年の挨拶を申し上げます。

子どもたちの幸せを願って今年も、会員の皆様と頭を寄せ合い、児童福祉向上のため邁進して参りたいと思います。

「一人がみんな みんなが一人  
一人一人が 組み合わせって みんなが一人  
一人がみんな みんなが一人 それがブレイメン」

（ブレイメン楽団の歌より）

一園では解決できない事も、知恵を出しあい、一緒に解決していく。そんな年にして参りたいと存じます。



副会長 中嶋 一雄

新年明けましておめでとうございます。

平成十三年五月に三市が合併してさいたま市が誕生し、さいたま市私立保育園協会が十九の加盟園で発足しました。その後、さいたま市も政令都市となり、岩槻市も合併して、平成二十五年には八十園を超えることとなり、協会も大きな組織となります。今後、待機児童の多いさいたま市では、私立保育園を増設することと思いますので、近い将来百園を越すこととなります。昨年は、「子ども・子育て新システム」が三党合意により、子ども・子育て三法に変わり制度が大きく変わることとなりました。協会も会員の皆様のご協力により、次代を担う子どもたちの未来のため頑張ります。



副会長 大野 智子

新しい年を迎えました。会員の皆様におかれましては穏やかな新春を迎えられたことと存じます。

今なお東日本大震災に見舞われた被災地の方々をはじめ、避難生活を続けられている方々からお見舞い申し上げます。すとともに、一日も早い生活再建と復興をお祈り申し上げます。今年で、協会も一般社団法人になって5年目を迎えます。これからも会員の皆様方と心を一つにして、さいたま市の子どもたちが、夢や希望をもって生きて行けるよう、情報の共有ができる会にしていきたいと思ひます。

今年も「Never Give Up」(決してあきらめない)の精神で頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。



# 民間保育園へ補助拡充を！ 他の政令市では？



保育士は、乳幼児の保育という極めて専門性の高い仕事にもかかわらず、他産業に比べると非常に低い給与水準にあり、保育士不足に拍車がかかっています。保育士の処遇の低さは、既に国レベルの関係会議などでも承知の事実となっています。そこで、職員の処遇改善のために、国の補助拡充が強く求められているところです。

また、月齢に応じた離乳食や、食物アレルギー等の対応食を提供できるようにするには、専門の知識が欠かせません。さらに、食育基本法によって、男女差や年齢によって基本摂取量を計算するなど栄養士なしでは給食全般の仕事ができない状況となっています。看護師についても、乳幼児期には、体調の激変や事故などの対応から看護師配置の要望が強く、運営費の中に栄養士や看護師が予算化されるよう国や市町村に働きかけているところです。

## 保育所

|         |       | さいたま市      | 千葉市      | 横浜市        |
|---------|-------|------------|----------|------------|
| 人 口     |       | 1,226,324人 | 963,088人 | 3,687,311人 |
| 就学前児童数  |       | 66,885人    | 50,735人  | 192,861人   |
| 入所率     |       | 17.55%     | 22.58%   | 21.11%     |
| 入所状況(公) | 施設数   | 62園        | 60園      | 98園        |
|         | 定員    | 6,413人     | 6,555人   | 8,613人     |
|         | 入所児童数 | 6,485人     | 6,938人   | 8,696人     |
| 入所状況(私) | 施設数   | 69園        | 49園      | 361園       |
|         | 定員    | 4,998人     | 4,337人   | 31,394人    |
|         | 入所児童数 | 5,253人     | 4,518人   | 32,009人    |

## 保育士配置数

|    | 国の最低基準 | さいたま市  | 千葉市    | 横浜市                 |
|----|--------|--------|--------|---------------------|
| 1歳 | 6人:1人  | 4人:1人  | 5人:1人  | 公立 6人:1人 私立 4人:1人   |
| 2歳 | 6人:1人  | 6人:1人  | 5人:1人  | 公立 6人:1人 私立 5人:1人   |
| 3歳 | 20人:1人 | 20人:1人 | 25人:1人 | 公立 20人:1人 私立 15人:1人 |
| 4歳 | 30人:1人 | 30人:1人 | 25人:1人 | 公立 30人:1人 私立 24人:1人 |
| 5歳 | 30人:1人 | 30人:1人 | 25人:1人 | 公立 30人:1人 私立 24人:1人 |

## 調理員配置数

|    |                                     |                                     |                             |                                     |
|----|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 公立 | 45人以下に1人、<br>46人以上に2人、<br>151人以上に3人 | おおむね常勤1人、<br>非常勤2人                  | 常勤1人または2人<br>その他喫食数により非常勤1人 | 定員により常勤1~2人                         |
| 私立 |                                     | 45人以下に1人、<br>46人以上に2人、<br>151人以上に3人 | 1人以上の配置を考慮                  | 45人以下に1人、<br>46人以上に2人、<br>151人以上に3人 |

## 用務員配置数

|    |    |        |           |      |
|----|----|--------|-----------|------|
| 公立 | 0人 | 各施設に1人 | 常勤or非常勤1人 | 基準なし |
| 私立 |    | 基準なし   | 基準なし      |      |

## 栄養士配置数

|    |    |       |            |      |
|----|----|-------|------------|------|
| 公立 | 0人 | 本庁に3人 | 0歳児入所施設に1人 | 基準なし |
| 私立 |    | 基準なし  | 1人以上の配置を考慮 |      |

## 看護師又は保健師

|    |    |                    |            |              |
|----|----|--------------------|------------|--------------|
| 公立 | 0人 | 0歳児9人以上の<br>保育所に1人 | 0歳児入所施設に1人 | 産休明け保育指定園に1人 |
| 私立 |    |                    | 1人以上の配置を考慮 | 基準なし         |

## 幼稚園数

|    |     |         |         |         |
|----|-----|---------|---------|---------|
| 公立 | 施設数 | 2園      | 1園      | 0園      |
|    | 定員  | 175人    | 157人    | 0人      |
| 私立 | 施設数 | 105園    | 92園     | 295園    |
|    | 定員  | 21,836人 | 16,842人 | 62,114人 |

※札幌市では、栄養士を2園で1人、仙台市では各園に1人配置している。

また、札幌市では、看護師を乳幼児併設園に各園1人、仙台市では、保健師を課付けで2人配置している。

※参考 ●100都市保育力充実度チェック 発行:保育園を考える親の会 ●さいたま市民間保育所設置認可基準

●保育所整備の手引き(横浜市) ●認可保育所整備の手引き(千葉市)

※人口、就学前児童数、入所率、入所状況は23年4月1日現在のもの 配置数は24年4月1日現在のもの

# ナースの お仕事

保育園編

定員120名の保育園。医務室が独立しており、クラス担任や支援センターには入らず、子ども・職員の健康と安全のため、看護業務を専任で行っている。1日の中で保育園の看護師としてどのような業務を行っているのか？（勤務時間 8:30～14:30）

## 毎日行うもの

朝

### (2～5歳児の4クラス)

登園時の園児の検温・体調に関する報告受け（保護者より）・薬の預り、内容確認。

＊朝・昼 全員検温を行い一人一人の平熱を把握。

### (0・1歳児クラス)

9時以降に薬の預り、内容確認。園長に報告。病状、薬の内容等詳細の記録。

昼

### ●給食前のシャワー・軟膏塗布

（病院にて朝・昼・夜のシャワー、軟膏塗布を指示されている子が数名）

### ●処方薬を塗布

### ●与薬

### ●各クラスの欠席者の確認と集計

⇒国立感染症研究所感染症情報センター 情報システム『保育園サーベイランス』

<http://www.syndromic-surveillance.net/hoikuen/>

## 適宜行うもの

●怪我や体調不良時の対応と看護  
（保護者への報告書記入）

●事故報告書の記入  
（必要箇所）

●医務室関係の物品  
の点検と補充

●書類の作成・補充  
（けんこうのきろく・事故報告書・薬依頼書・  
登園届・身体測定表・園児と職員の検温表）

●痙攣止め坐薬、食物アレルギー  
のアナフィラキシー時の薬の預り、保管・管理

●年長児対象、ブラッシング指導（カラーテスト）



## 毎月行うもの

●身体測定・記録

●支援センターの身体測定

●保健だよりの作成、配布

●職員の検便依頼（容器の配布・ラベル作成・伝票記入）



## 年間で行うもの

●園児の健康診断（春・秋）歯科検診  
（医師との日程調整、保護者へのお便り、  
質問用紙の作成（2月齢早見表の作成））

●質問内容のまとめ  
（健診後、各職員への報告。回答の記入、健診結果のまとめ）

●けんこうのきろく、母子手帳、  
児童表の準備をし健診結果を記入、  
担任を通し、保護者へ報告

●健診結果の集計・報告

●職員の健康診断の日程調整  
（健診後、各職員への報告、健診結果のまとめ）

●職員のインフルエンザ予防接種の  
依頼・日程調整

独立した医務室・専任の看護師が配置されていることは子どもの安全・健やかな育ちには大切。しかし、様々な問題から専任の看護師を各園が配置することは難しい。本当に必要な事が行えるよう願っています。

※私立認可保育園77園（認定子ども園1園を含む）の内、看護師の配置をしている園は32園です。（平成24年4月現在）

楽しいなと思うとき、苦しいなと思うとき、  
うれしいなと思うとき、悲しい気持ちにな  
るとき、職員に知ってもらいたいこと、買っ  
てほしいもの、などなんでもつぶやいてい  
ただきました。



## 楽しいなと思うときやうれしいなと思うとき

- 離乳食の初めから関わり中期→後期→完了へと進んでいくとき  
の子ども達の成長を見ることができたとき
- 時間があるときに保育室へ遊びに行き子どもと接する時がと  
ても楽しいです。
- 給食を作っているときも子ども達の顔を思い浮かべながら、入  
園、田んぼでの稲つくり、プール作り、祭りの山車作り、運動会、  
お泊り保育、卒園式、他にも沢山の行事に参加して、参加し  
てこそ楽しさを感じられる。

## 苦しいなと思うとき、悲しい気持ちになるとき

- 気合を入れて新メニューを調理し、きっと子ども達は食べてく  
れるだろうと思った時に、残食が多いときはがっかり…です。
- クッキングで栄養士が教室で行っているのに、担任の先生が作  
り方からすべて話してしまい、ただの手伝いになってしまい、  
忙しい時間に抜けているのにやりがいもなく苦しい。
- 給食室は個室、人間関係や作業の様子を園長、職員は全く分かっ  
ていなく、給食全般を任されているので孤独感を感じることが  
あり悲しく思う。結構体力的にも辛い仕事。
- 食育の活動が保育とうまくからみ合わないときなどは、結構悩  
みます…。
- アレルギーの子にも喜ばれる給食（我慢をさせてしまうところ  
が悲しい）

## その他

- 子どもの好きなもの・食べたいもの＝栄養  
のバランスがとれるものにならないことが、  
献立を作る上で難しいことが多い。食べな  
い＝嫌いなものではないと思うのですが
- 保育を学んできたわけではないので、子ど  
もに対しての「こんな時どうしたら良いのか  
……」という疑問が浮かぶ時があります。で  
も、子ども達がキラキラした笑顔で生活し  
ていると、すごく嬉しく、あたたかい気持  
ちになれます。それを引き出せる保育士さ  
は、本当にすごいです。
- 少子化が続いていますが、長く続けられたら  
いいです。
- 給食の仕事は、自分たちの作ったものが、子ども  
達の成長に繋がるのがダイレクトに見えるので  
とてもやりがいがあります。（やりがいがある2件）

## 欲しいもの

スチームコンベクションが断トツの一位でした。  
他に、フードプロセッサー、鍋、シリコンスチー  
マー、ハンドミキサー、子どもが使う箸  
調理員を一人増やして欲しい。

## ⑦月⑮日水 保育園見学会(研究研修部) 場所…浦和ひなどり保育園

9時30分…裏山ビオトープ見学 → 10時00分…園内見学 → 10時40分…講話「保育園の概要」



- 「どんぐり山は、ありのままの姿を残す環境設定であり、与えるのではなく子ども  
たち自ら考え、工夫する、自主性を育める環境でした。落ちた笹の葉をふみ歩いた時の音、  
雨の後笹をゆすると落ちてくる雫の冷たさや感触等、自ら発見し喜びが得られ、五感  
が刺激されるような場所でした。」（保育士7年）
- 「繰り返し保育士が言葉をかけるのではなく、0歳児から見守り自分で考え動くとい  
う力を育てる保育でした。トイレの水を何回流しても指導はせず、「飽きたらそのう  
ちやめる」を待ち見守ることが大切とのことでした。日々の保育を振り返りもう少し  
子ども達の自分で考える力を育てたいと思います。」（保育士3年）
- 「子どもと関わり、日々楽しい保育を心がけて行ってきたが、逆に過干渉気味の保育になっていたかもし  
れません。見守る保育の一步引くことの難しさや物足りなさを見学して感じましたが、自分の意見を  
伝えられる姿を育てるには必要なことで、自分の保育を見直すきっかけになりました。」（保育士7年）
- 「否定的な言葉ではなく、問いかけて子どもに考えさせ、少し言葉を工夫することで子ども達にど  
のような変化が見られるのか試してみようと思った。また、何でも保育者から促すのではなく、子  
どもが目を見て行動できるような工夫を取り入れ実践したいと思った」（保育士13年）



## 部会活動報告

### 平成24年度 予算対策部会 活動報告

部長 金子 正年

6月に第1回目の委員会開催をし、平成25年度の予算要望作成の検討を行い全協会園に対し予算要望のアンケートを行う事といたしました。

7月に第2回目の委員会開催をし、アンケートをまとめて平成25年度の予算要望項目を決定をし作成しました。(アンケートご協力ありがとうございました)

予算要望に対して9月下旬より、まずはさいたま市長に対して保育課を窓口として予算要望書を提出し、今年度、新しい取り組みとして、要望に対する保育課の回答を頂けるようにお願いしました。また、市議会各会派(自民・民社・公明・共産・改革フォーラム)に対し要望提出のみではなく、会派との懇談会をして要望のみならず現保育園の現状を理解して頂く取り組みをして参りました。以上活動報告といたします。

### 平成24年度 研修部会 活動報告

部長 中嶋 貴子

研修部は「子どもの最善の利益」と「質の向上」に努めます。

#### (1)主任交流会

「頼られ愛される主任のためのコミュニケーションの研修」2回開催

講師:選択理論心理士 星野優美子先生 参加者各30名

#### (2)保育士研修

「子どもの豊かな感性を育む秋からの自然あそび」

講師:埼玉県生態保護協会

主任研究員 岩井大輔先生 参加者35名

#### (3)保育園見学

浦和ひなどり保育園

新園舎、見守る保育を見学させて頂きました。参加者30名

#### (4)看護師交流会

各保育園の子どもたちの健康状態などを話し合い交流しています。参加者18名

#### (5)さいたま市保育研究大会

私立保育園・公立保育園の研究発表

今年は、6園発表しました。

### 平成24年度 広報部会 活動報告

部長 和田 喜美

会員相互の交流を図り、保育会の情報、研修会の取材と報告、園紹介に加え、24年度の特集は、主任、看護師、栄養士のつづきを取り上げ会員と職員の皆様に向けた広報誌を発行しました。

【活動】 ● 7号・8号広報誌「みらい」を発行

- 取材 ● アンケートの実施
- 広報部会

【紙面の内容】 ● 保育会の情報・取材記事・研修会報告・部会活動報告

- わくわくがいっぱい・園紹介

### 平成24年度 調査・研究部 活動報告

部長 島村 和宏

今年度の活動は以下の通りです。(実施中・予定含む)

#### ①幼児教育研究調査委員会への出席

私立保育園、公立保育園、幼稚園、小学校関係者による委員会です。「子どもの日常生活と心身の育ちの現状を探索」をテーマに調査項目を検討しています。今年度中に各アンケート調査を実施予定です。

#### ②さいたま市 監査指導に関するアンケート

会員園対象として、さいたま市の監査に関係したアンケートを行いました。頂いた指摘事項、指導事項、要望や感想はまとめて、各園に資料として配布します。集計結果は行政との懇談会、意見交換会で参考資料として使用する予定です。

#### ③政令市対象 資料作成

さいたま市への予算要望の根拠となるように資料を作成しました。全国私立保育園連盟の政令指定都市会議の資料、議会調査局の資料を参考に作成しました。毎年修正を入れながら、参考資料として使用する予定です。25年1月の政令指定都市会議での資料を反映させて、会員の皆様に配布予定です。

今後も調査・研究部の活動が各園の運営の参考になり、保育の質向上に繋がるよう頑張ります。

今後も会員の皆様のご理解・ご協力よろしくお願い致します。

### 平成24年度 食育部会 活動報告

部長 和田 明子

食育部会では、勉強・意見交換会や調理講習会を毎年開き、栄養士、調理師等の知識を高め、園の食事や食育活動の工夫をしております。

6月30日に「寒天、ゼラチンの調理について」の勉強会、及び意見交換会をおおぞら保育園にて行い、ゼラチン・寒天・アガーの違いと特性・性質について深く学ぶ事が出来ました。グループ別の意見交換会では、各園の普通食・離乳食の献立表を持ち寄り、人気献立を紹介し合い、離乳食の進め方、放射能について等、話し合う時間を設けました。

9月19日に「無水鍋を使った健康料理」の調理講習会を実施しました。無水鍋ならではの調理法を生かした、実習になりました。

今年度は『食物繊維のアイディア献立』を各園の皆様を紹介して頂き、レシピ収集を致しました。今後はレシピをまとめ、「ほいくえんの献立2」の発行に向けて進めて参ります。

又、さいたま市健康増進課からの依頼の下、さいたま市ホームページ内の「食育ナビ」に2園ほど食育活動を掲載致しました。各園での食育活動の取り組みを順に掲載して参りますので、御覧頂き、御協力お願い申し上げます。



# わくわくが いっぱい!

## 大宮むさしの保育園

### お餅つき

園長先生と一緒にぺったんこ



## おうぎの森保育園

### 焼きいも



幼児組の収穫したお芋を全園児で焼きいもにして頂きました。

## 武蔵浦和桑の実保育園

### カルタ

お友達に取られてなるものと、みんな真剣な顔でカルタとにらめっこしています。



## こびとの森保育園

### 清水勇人市長訪問



「スーツ姿では困惑するかもしれないから」とアンパンマンのエプロンを準備され、「こんにちは〜」と声をかけながら笑顔で各クラスを回り、施設内を見学されました。

避難訓練には一緒に参加をされ、園児に「みんな先生の声を聞いてしっかり避難ができましたね」とお話をいただきました。「避難訓練を実際に見学したのは初めてです。毎月行っているのですか。よくわかりました」とお話をされました。



## ハーモニー保育園

### この虫になかな〜?



大好きな絵本から虫に興味を示しみんな観察中!

## アーバンみらい東大宮 プライムキッズガーデン保育所

### 雪あそび



「目どうする?」「口が落っこっちゃう!」できたかな? 雪だるま。手が冷たいけど楽しいね。

## めだか保育園

### 龍の子太郎

紙芝居や物語で親しまれている『龍の子太郎』を職員保護者と一緒に作り、夏祭りでかつぎました。夕やみの中、龍に乗った龍の子太郎が湖をたんぼにするため、山をつきくずす場面です。



## 保・育・園・紹・介



乳児用園庭



## 明日香保育園

園長 飯野 栄子

明日香保育園は、さいたま市の西部地区に位置し、加茂川団地に隣接しています。

昭和56年4月60名定員からスタートし、平成11年4月80名定員、平成13年1月より現在の90名定員となりました。零歳児保育は昭和63年4月より定員3名で開始されましたが、定員変更により8名の賑やかな零歳児クラスとなっています。

当園では「明るく 思いやりのある 元気な子」を保育目標に一人一人の個性を見守りながら、中身の充実した保育を心掛けるとともに、安心して預けられる環境を目指したいと考えています。

保育の大きな柱として、縦割り保育と体力作りが挙げられます。縦割り保育では、月に2回程度クラスを解体し、グループ毎にお散歩に出かけたり、製作等を行っています。その中で、大きな子が小さな子を優しくいたわる気持ちが育まれ、小さな子も大きな子に憧れをもって成長していると感じます。

体力作りでは、バランスのとれた体力作りを目指し、幼児体操教室講師による月2回の体育指導や裸足保育、朝のマラソン、午睡前の乾布摩擦等に取り組んでいます。また、広い園庭にも恵まれ、そこでのびのび遊ぶ子どもたちは元気一杯、笑顔が溢れています。今年度から乳児用園庭が新たに整備され、安全面にも配慮しながら、今後も更に理想的な環境作りを模索し、次代を担う子ども達の健全な育成の為に研鑽を重ねて参りたいと思います。

## 昭和に認可された保育園

昭和に開園した保育園、古い保育園は認可を承ける以前から、子どもたちに遊び場の提供をし、福祉を根底に受け入れをしていました。認可を承けた年、公立の保育園は1園しかなかった時代です。裸足で駆け回り、木登りをし、お弁当を夢中で食べ、友だちとの遊びの中から多く学び、園長先生から社会を教えてもらった。母親の社会進出などの予想もなく、待機児童の言葉も生まれていなかった。「子どもは母親が育てるもの」の考えが根強い時代、昭和の園長たちは子どもの幸せのために、行政へ訴える活動を開始した。

昭和57年以降、平成8年に1園が認可されるまで、さいたま市(大宮・与野・浦和)の認可園は24園であった。

大宮さくら保育園  
昭和27年4月26日

瀬ヶ崎保育園(閉園)  
昭和27年11月3日

聖徳保育園  
昭和29年2月1日

浦和ひなどり保育園  
昭和29年4月1日

たちばな保育園  
昭和37年10月1日

与野ひなどり保育園  
昭和37年10月1日

岩槻保育園  
昭和41年5月1日

わらしべ保育園  
昭和45年4月1日

エンゼル保育園  
昭和48年4月1日

東武保育園  
昭和49年12月1日

ひまわり乳児保育園  
昭和50年5月1日

エンゼル乳幼児園  
昭和51年4月1日

こぐま保育園  
昭和52年4月1日

岩槻さくら保育園  
昭和52年4月1日

東岩槻保育園  
昭和53年4月1日

あすなろ保育園  
昭和53年4月1日

白菊保育園  
昭和54年4月1日

ひまわりDO・DO保育園  
昭和54年4月1日

浦和乳幼児センター  
昭和55年4月1日

明日香保育園  
昭和56年4月1日

東浦和みどり保育園  
昭和56年4月1日

しらこぼと保育園  
昭和56年4月1日

椎の実保育園  
昭和57年4月1日

本郷保育園  
昭和57年4月1日

## 編集後記

早いもので広報誌「みらい」は8号の発行を迎えました。八は末広がり縁起の良い数字とされています。25年度はどんな年になるのでしょうか。子どもたちが、今の自分の幸せに気づき、世界中の子どもたちにも思いをはせることのできる夢と想像力を育てたいですね。園生活の中で、子どもたちと共に幸せの種を一粒ずつ蒔いていきたいと思います。

皆様の園で、子どもたちの素敵な一瞬を写真におさめてご応募ください。園の行事はもちろん、「子どもたち同士のかかわり」「子どもと保育者とのふれあい」「製作の取り組み」「楽しい給食やおやつ」など園での日常生活の中から切り取った、心温まるショットをお待ちしております。

広報誌「みらい」にうれしい声をたくさん頂き、広報部一同感謝申し上げます。広報部 和田喜美

## ・表紙の写真・ 干し柿

渋柿をたくさんいただいたので、年長児みんなで、片手に軍手をして渋皮をピーラーでむきます。むいた渋柿を干し柿にしました。こぐま保育園

